

金沢大学ナノ生命科学研究所 (WPI-NanoLSI) プレスリリース

発信元：金沢大学ナノ生命科学研究所

DATE: 2021年12月8日

金沢大学ナノ生命科学研究所研究イベント情報：未来のナノ分野研究をのぞきませんか？

(Kanazawa 8 December 2021) 第10回 WPI サイエンスシンポジウム開催 12/18 (土)
【市民参加型シンポジウム】

金沢大学ナノ生命科学研究所 (WPI-NanoLSI) は、「未来へ向かう Nano World」をテーマとし、2021年12月18日(土)に第10回世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI) サイエンスシンポジウムを開催します。(事前予約制、登録数制限なし)

WPI サイエンスシンポジウムは、第一線の研究者が世界から集まり、優れた研究環境ときわめて高い研究水準を誇る WPI 研究拠点の成果を広く紹介するために毎年開催するものです。

Nano World, “10億分の1メートルのスケールの世界”には、あらゆる物性や現象の起源があります。

今年の WPI サイエンスシンポジウムでは、この Nano World にスポットをあてます。世界トップクラスの研究者たちが挑む、Nano World の謎と不思議。研究の最前線を知り、研究の醍醐味に触れ、科学の未来をのぞいてみませんか？

午前の部の講演会では、医学及び医療、材料科学、環境科学、生命科学を切り口に、Nano World を舞台とする最先端の研究成果をご紹介します。午後の部では、高校生と世界トップクラスの研究者との研究交流を企画しています。

◆プログラム

日 時 2021年12月18日(土) 09:00 – 17:30

会 場 石川県立音楽堂よりオンライン配信

◆対象

中高生、大学生、社会人など誰でもご参加いただけます。

◆申込

<https://10th-wpisymposium-nanolsi.jp/>

「事前申込」 から必要事項をご入力の上、事前にお申し込みください。

◆お問い合わせ

金沢大学ナノ生命科学研究所 (WPI-NanoLSI)

nanolsi-office@adm.kanazawa-u.ac.jp

※ 世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)

研究分野や国のボーダー、言語や制度のバリアーを越えて、世界から第一線の研究者が集まる「目に見える国際研究拠点」の形成を目指して、2007年に文部科学省が開始しました。2021年現在、日本各地で14の研究拠点が研究活動を展開し、世界最高水準の研究成果を生み出し続けています。

※ 金沢大学ナノ生命科学研究所 (WPI-NanoLSI)

2017年度世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)に採択され設立された研究所です。液中で原子や分子の動きを直接観ることのできるナノプローブ技術の開発で世界をリードしています。本研究所は、これらのユニークなイメージング技術を基盤として、細胞の表層や内部という「未踏ナノ領域」を開拓し、人類が観たことのない現象を直接可視化することで生命科学分野に飛躍的な進展をもたらすとともに、「ナノプローブ生命科学」という新たな学問分野を形成することを目指しています。

Website: <https://nanolsi.kanazawa-u.ac.jp/>

Twitter: <https://twitter.com/nanolsi>

関連図

2021.12.18 sat. 9:00-17:30
WPI Science Symposium
10th
未来へ向かう NanoWorld
Nanolsi

片岡 一則 谷口 尚 高橋 幸奈 福間 剛士

(公財)川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター
物質・材料研究機構 国際ナノアーキテクトニクス 研究拠点
九州大学 カーボンニュートラル・エネルギー 国際研究所
金沢大学 ナノ生命科学研究所

招待講演者